

令和4年在宅医療・介護に関するアンケート調査概要

■調査目的

宇城市における医療と介護の連携の状況、連携における現状・課題等を把握し、今後の在宅医療・介護連携推進事業の取り組みに活用する

■調査対象

医療機関：43 歯科医療機関：29 調剤薬局：28

介護保険事業所：156 有料老人ホーム：39 合計：294ヶ所

■調査方法と調査機関

(1) アンケート調査票を郵送しFAXにて返信・グーグルフォームからの回答

(2) 調査期間：令和5年1月16日～令和5年2月10日

■その他

アンケート結果は宇城市社会福祉協議会のホームページ内に公開する

■在宅医療・介護連携に関するアンケート調査対象数と調査結果

□有効回答数：216件

事業種別	調査対象	総数	回収票数 (件)
①	医療機関	42	17
②	歯科医療機関	29	6
③	調剤薬局	28	11
④	介護保険事業所	156	156
⑤	有料老人ホーム	39	26
	全アンケート総数	294	216

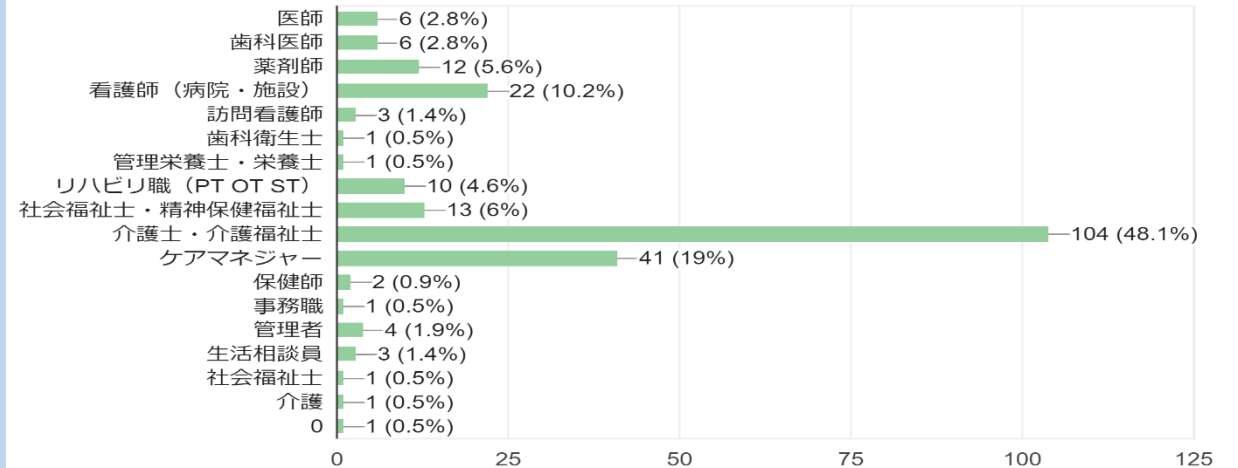
事業種内訳

□19種の事業種の回答

医科	16	歯科	6	薬局	9
訪問看護	7	訪問リハビリ	1	有料	13
居宅介護支援事業所	25	訪問介護	15	通所リハビリ	12
通所介護	42	訪問入浴	1	地域密着型入居	7
グループホーム	5	老健	2	小規模多機能	20
介護療養型	1	特養	21	福祉用具	3
包括	10				

回答職種内訳

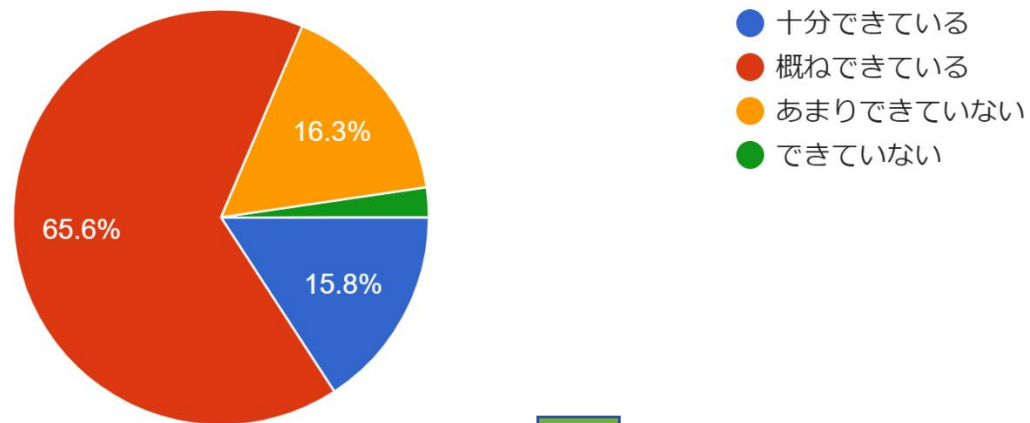
□入力者が主に従事している職種を選択してください
216件の回答



- 今回、回答方法を変更した為に回収率の比較はできない
- 医科、歯科、薬局と回答数は低下した
- 回答は介護士・介護福祉士の回答がだんとうつ多い
- グーグルフォーム、ペーパー回答での内訳
(137・79) グーグルフォーム回答が以外に少なかった
回答数も伸びなかった

質問1 現在、他の事業所との連携はできていますか？

215件の回答



内訳

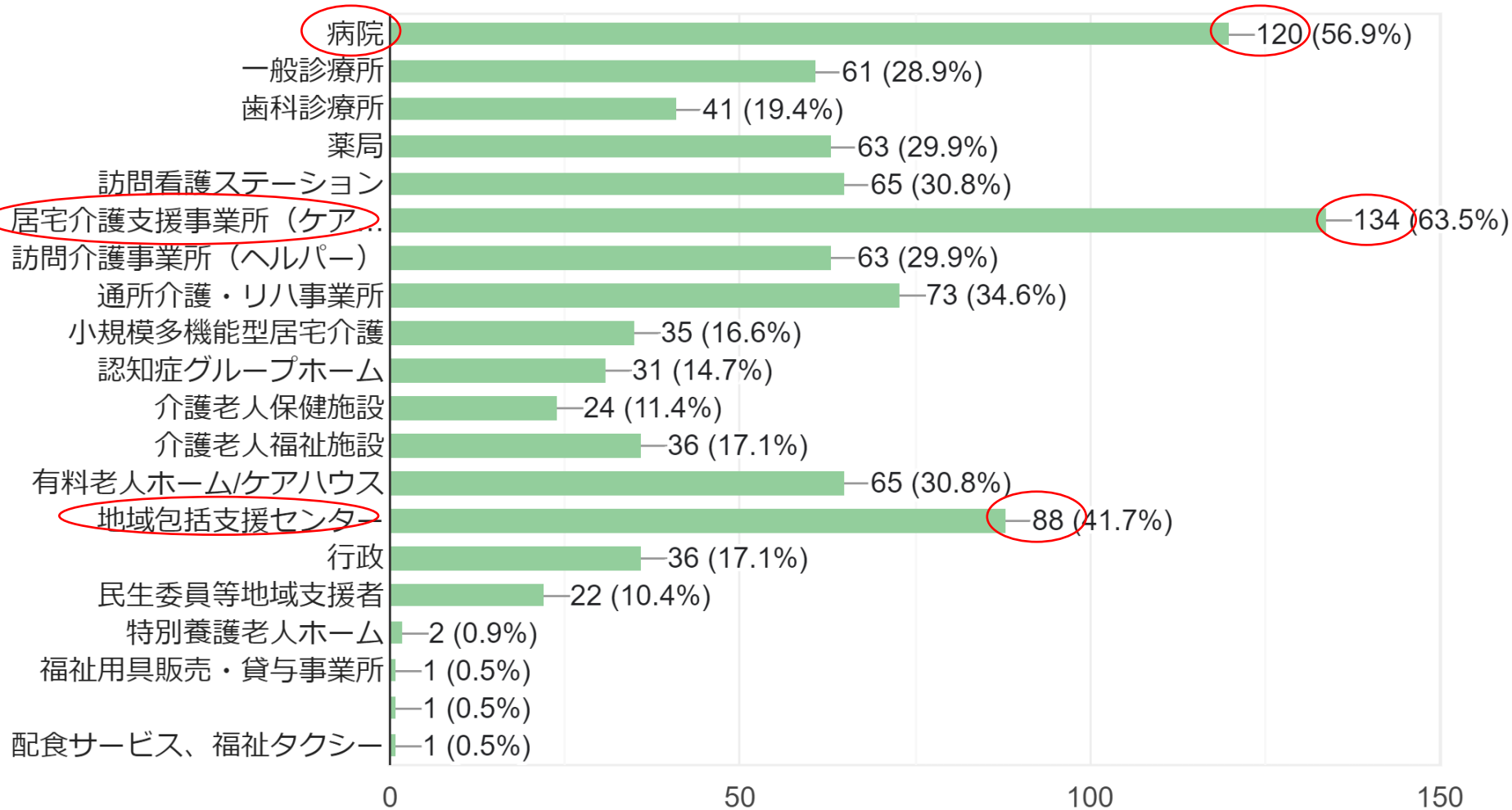
	十分できている	概ねできている	できていない	あまりできていない	総計
医科	2	15			17
介護保険事業所	22	108	1	24	155
歯科		1	3	2	6
調剤薬局		4	1	6	11
有料老人ホーム・ケアハウス	10	13		3	26
総計	34	141	5	35	215

□「十分できている」
 「概ねできている」 81.8%
 □「あまりできていない」
 「できていない」 18.2%

令和2年時は
 「十分できている」
 「概ねできている」は77.2%
4.6ポイントの上昇あり

質問2 現在、よく連携しているところは？（複数選択可）

211件の回答

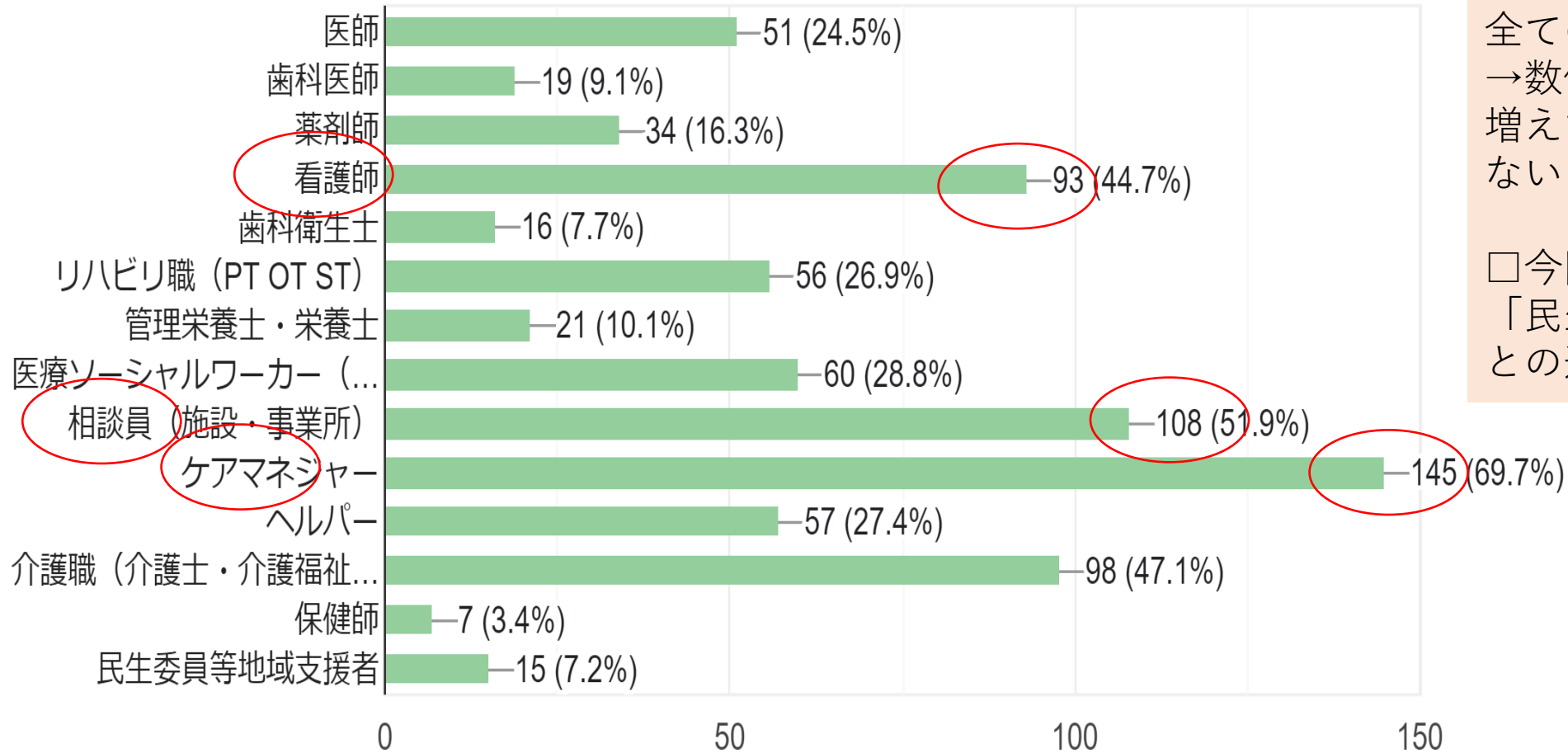


□ 「病院」
「ケアマネジャー」
「包括支援センター」

2年前も同様の回答
連携の中心を担う

質問3 連携をとりやすい職種は？（複数選択可）

208件の回答



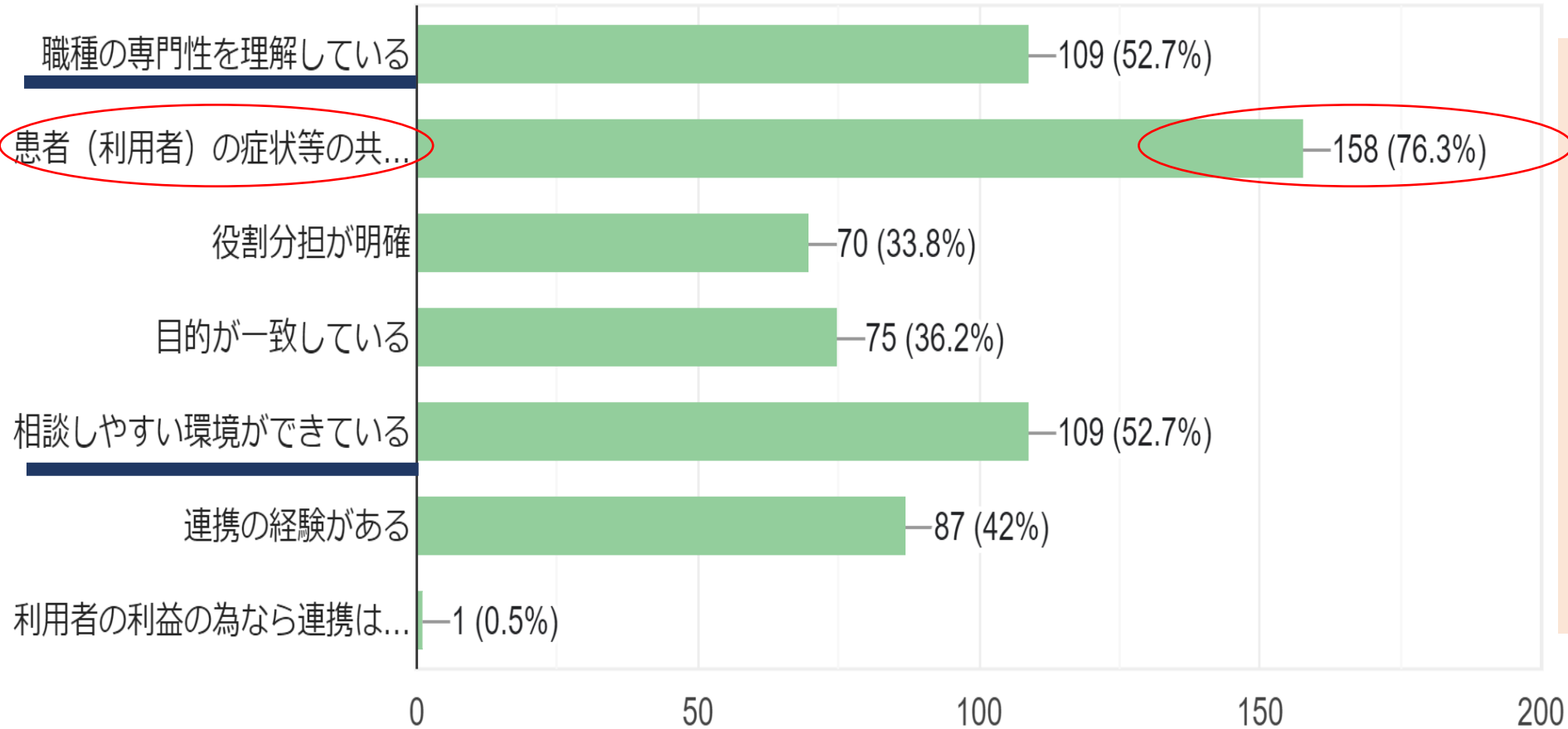
「ケアマネジャー」
「相談員」
「看護師」

上位結果以外の職種
全ての回答数値が増
→数値の上昇は連携の機会が
増えているといえるかもしれ
ない

今回、新選択肢の
「民生委員等の地域支援者」
との連携が一定数ある

質問4 連携をとりやすい理由は？（複数選択可）

207 件の回答

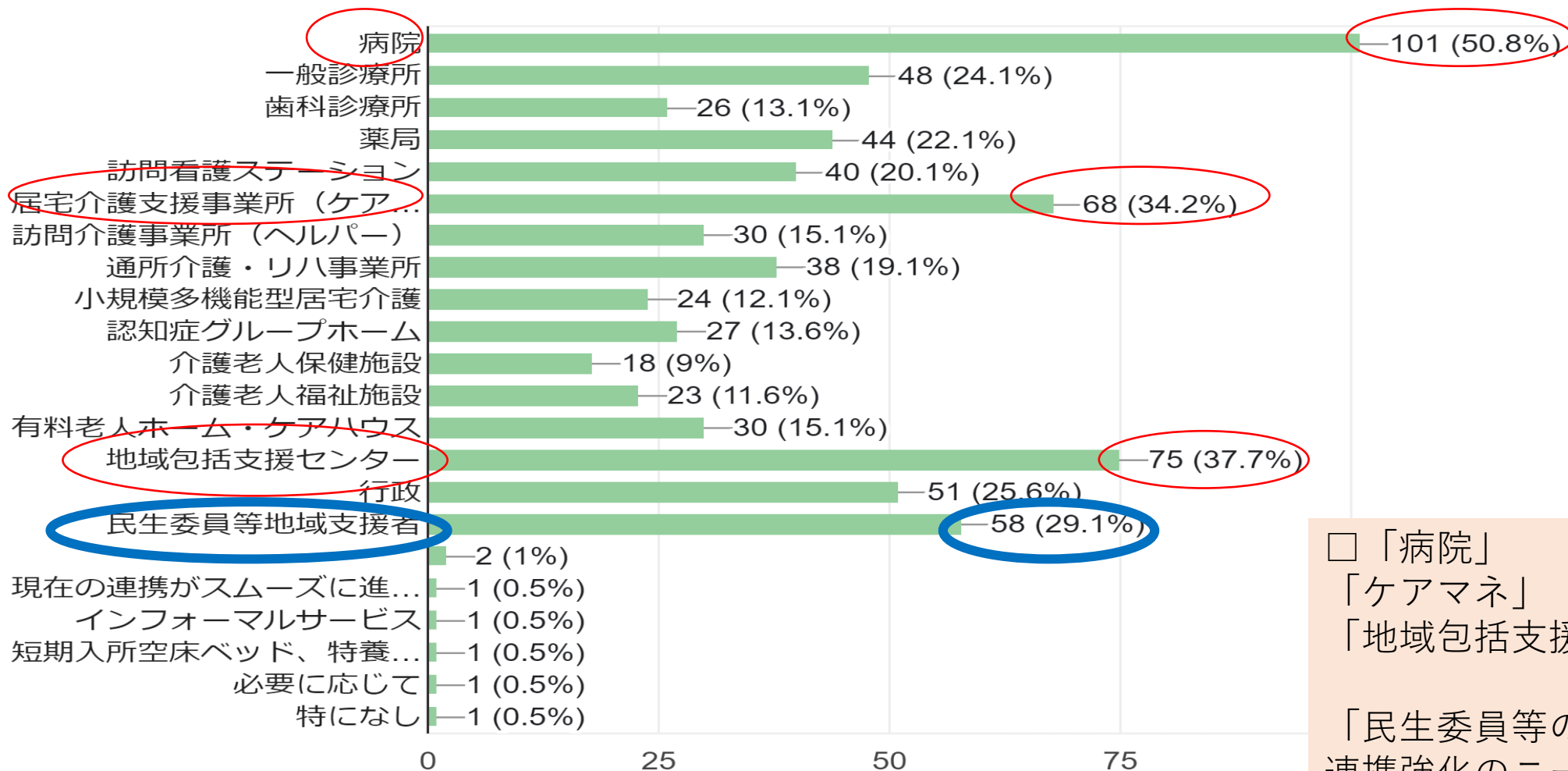


患者（利用者）のケースをとおしての連携が主

上位の3つの回答より患者、利用者ケースをとおして関係ができ、職種の理解につながっている。また、ケース連携を重ねる事で相談しやすい関係、環境ができている

質問5 今後、もっと連携したいところは？（複数選択可）

199 件の回答

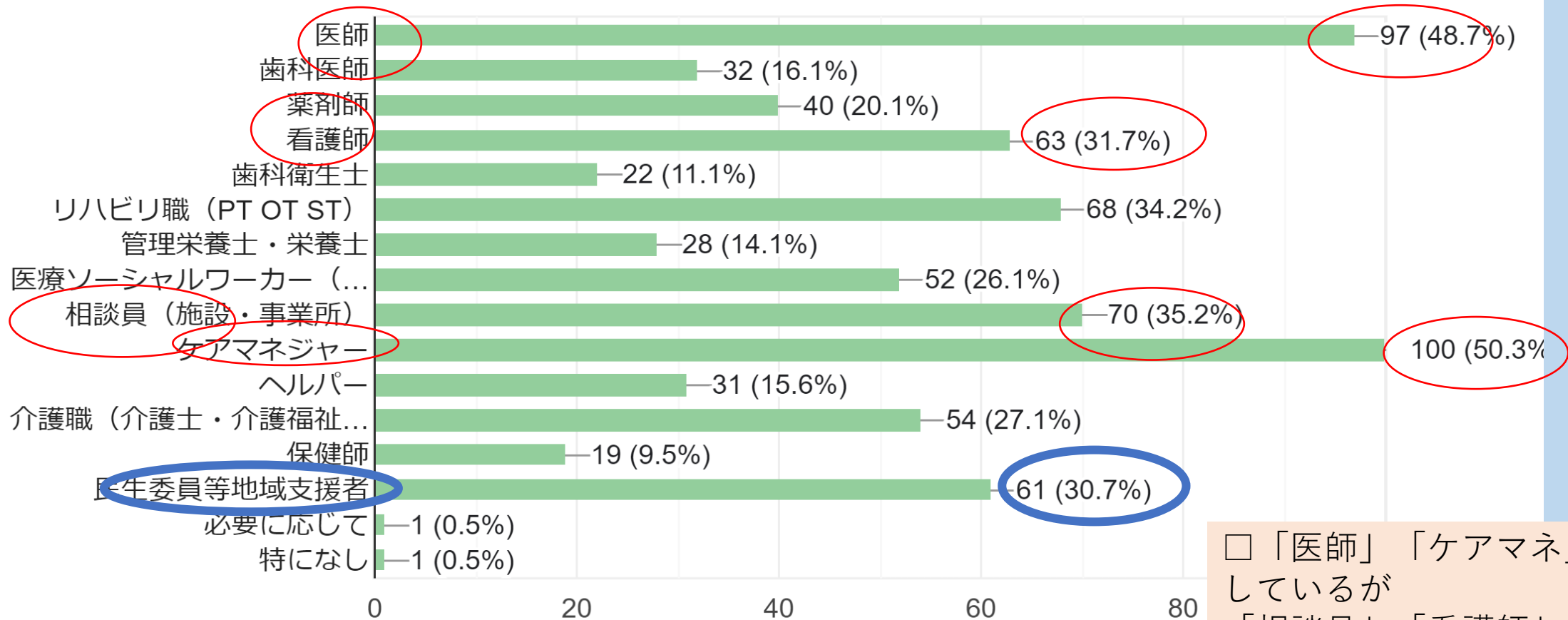


□ 「病院」
「ケアマネ」
「地域包括支援センター」

「民生委員等の地域支援者」との
連携強化のニーズがある

質問6 今後、もっと連携をとりたい職種は？（複数選択可）

199 件の回答



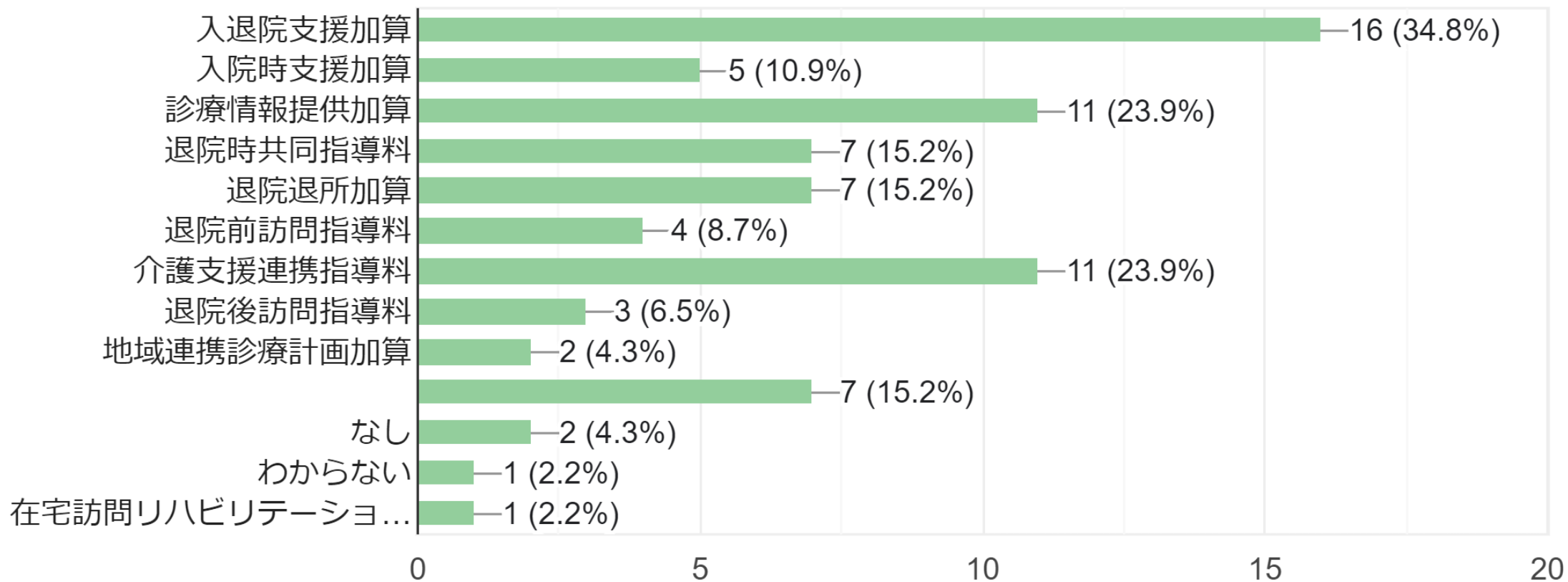
□ 「医師」「ケアマネ」が突出しているが
「相談員」「看護師」「リハビリ職」の数値ものびている

□ 民生委員等の地域支援者との連携強化のニーズあり

質問7 あなたの事業所で入退院連携に際して下記..

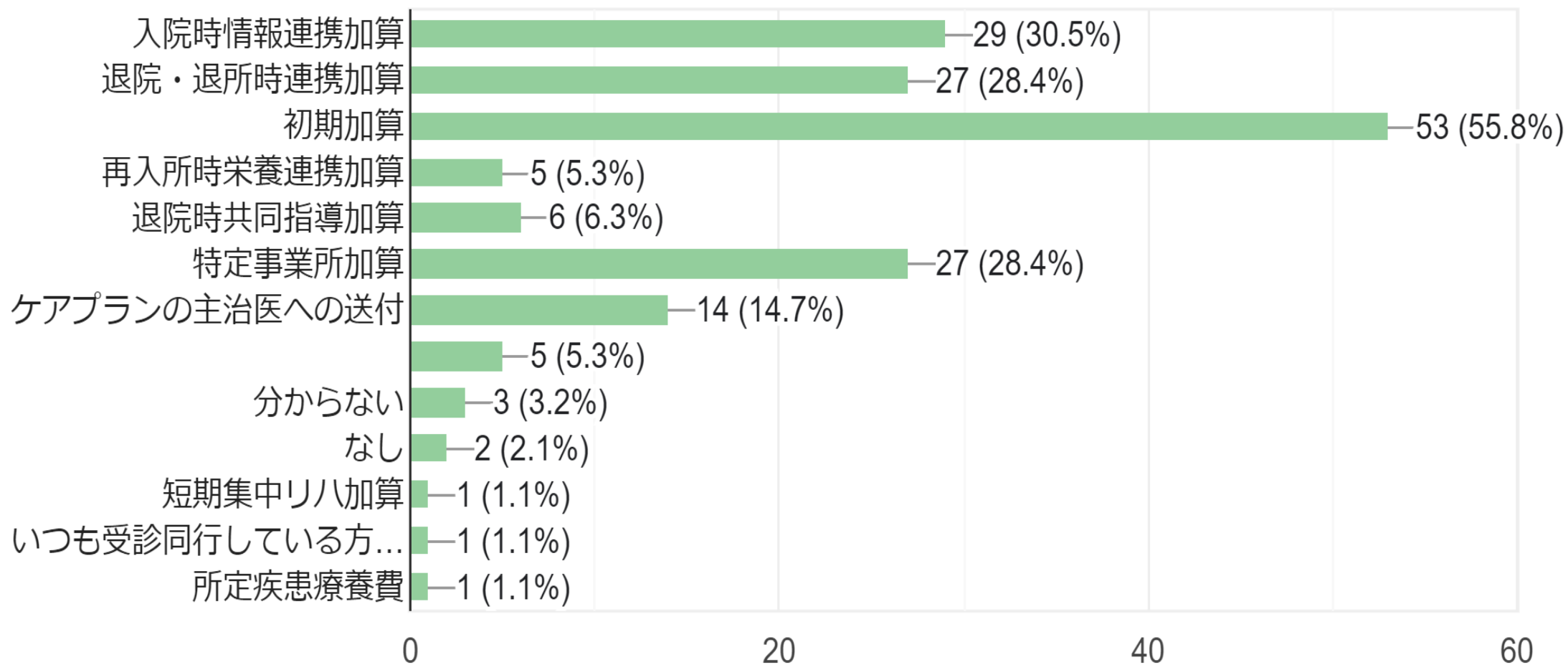
46件の回答

の中に算定している加算がありますか？
該当するものを全て選択ください（医療系）



【介護系】

95 件の回答



医療系事業所⇒介護保険サービス事業所へのご意見

○情報発信について

- ・受け身でない発信を！
- ・患者さんの自宅での日常生活の療養状態、健康状態、家族構成、服薬管理など詳しい情報がほしい
- ・利用者本位のケアマネジメントをお願いしたい（介護サービス提供の為にプランが多い）

○医療機関より

- ・主治医意見書を記載するが、その後、どのようなケアが入っているのか不明
- ・主治医意見書記載時、更新時に患者の状態を知らせてほしい

○歯科より

- ・ケアマネジャーより訪問診療で歯科受診が保険でできる事や誤嚥性肺炎予防で口腔ケアの必要性を伝えてほしい
- ・歯科からはどこに連絡をすれば介護事業所との連携ができるのかがよくわからない

○薬局より

- ・薬剤師が関われる症例があれば話を伺いたい
- ・薬局、薬剤師にも患者様の生活や服薬状況などの情報がほしい
- ・薬剤師がかかわる意味を理解してもらいたい

○情報連携について

- ・くまもとメディカルネットワークに加入してほしい

介護保険サービス事業所⇒医療系事業へのご意見

○入退院連携

- ・救急の時の主治医連絡（特に夜間）が円滑にいくようにしてほしい
- ・退院時の情報提供は早めにほしい
- ・医療職の担当者会議への参画（できるだけ顔合わせできたら）
- ・退院の際に家族の意見ばかりでなく施設スタッフにも意見をきいてほしい
- ・連携窓口を作してほしい
- ・医師や医療職への照会依頼への返答は早めの返答をお願いしたい
- ・医師や医療職に病院と施設の違いを理解して、退院に繋げてほしい

○関係作り

- ・共通の場で勉強会（口腔ケアや薬）をしていき、相談しやすい関係をきづきたい
- ・病状や薬の副作用など相談しやすい環境づくり

○歯科への提案

- ・時々治療の進行具合などを家族へ連絡してほしい。ご家族より尋ねられる事がありその際に詳しい説明ができない

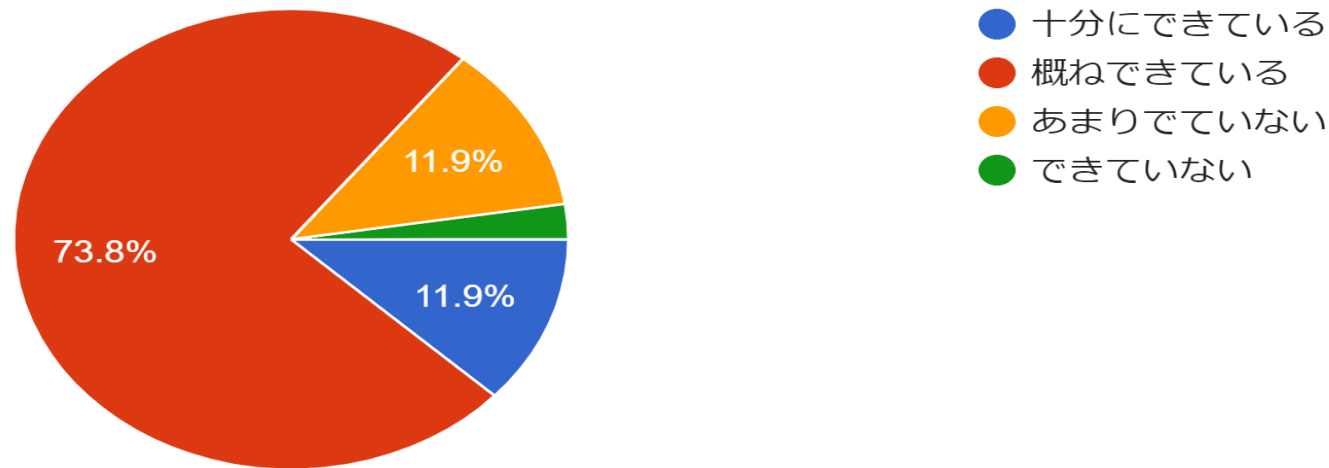
○**居宅療養管理指導** 高齢や認知機能低下がみられる利用者に対しての指導が適切に行われているのか疑問に感じる事がある。誰に指導、情報提供行うのが望ましいかも検討して介入をお願いしたい

○情報連携について

- ・くまもとメディカルネットワークは介護側が情報が閲覧できるように使い勝手をよくしてほしい
- ・情報共有ツールを作成してほしい
- ・バイタルリンクの活用

質問11 入退院時の情報提供をはじめとして、医療と介護の切れ目ない連携はできていますか？

202 件の回答



	十分にできている	概ねできている	回答なし	できていない	あまりできていない	総計
医科	1	14	2			17
介護保険事業所	16	114	8	1	17	156
歯科		1	3	1	1	6
調剤薬局		4		3	4	11
有料老人ホーム・ケアハウス	7	16	1		2	26
	24	149	14	5	24	216

「十分にできている」
 「概ねできている」 85.7%
 「あまりできていない」
 「できていない」 14.3%

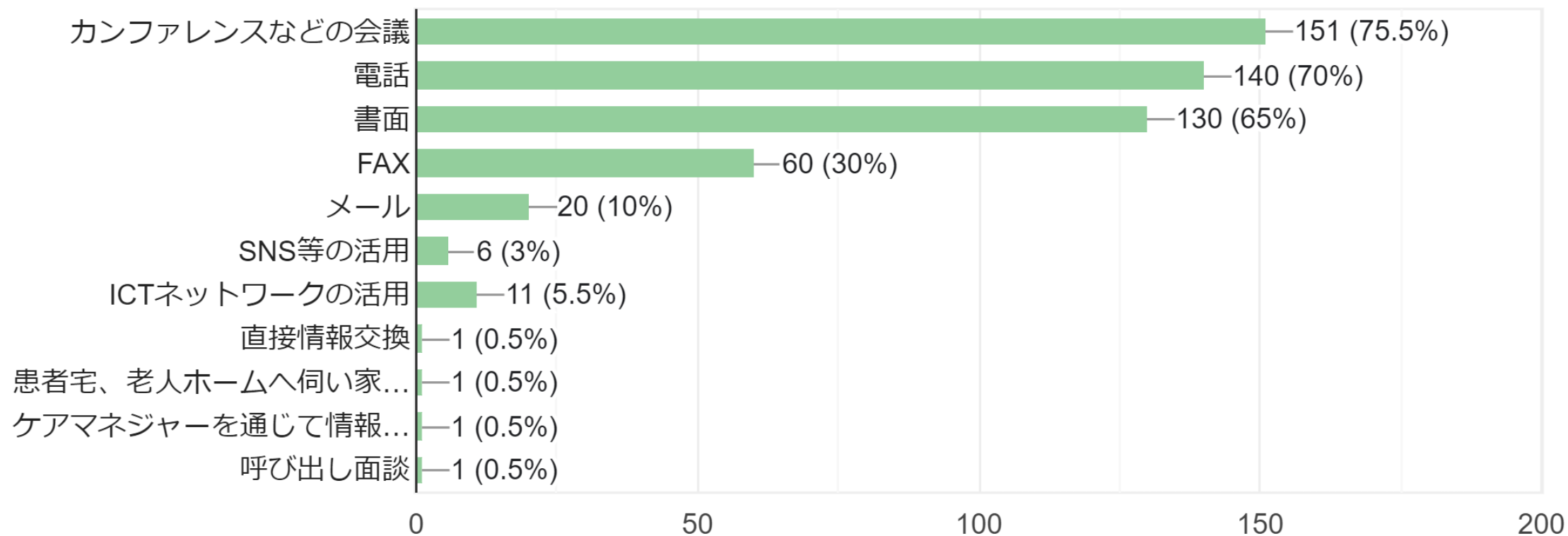
歯科・調剤薬局が思うような連携がはかれていないと感じている

質問11において「あまりできていない」「できてない」と回答した理由

- ・ 急な入院や退院時の連携が相互にとれないことがあった
- ・ 詳しい情報提供がない
- ・ 医療系と直接連携をとりあう事がない
- ・ 求める情報に差異がある
- ・ 交流がない
- ・ 連携業務に直接かかわっていないから
- ・ 窓口機能に問題がある
- ・ 多忙なようで聞きづらく感じる事がある
- ・ 照合文章の依頼をした際に受付の方に理解してもらえない事がある

質問13 多職種とのつながりにおける患者・利用...報共有の方法を教えてください？（複数選択可）

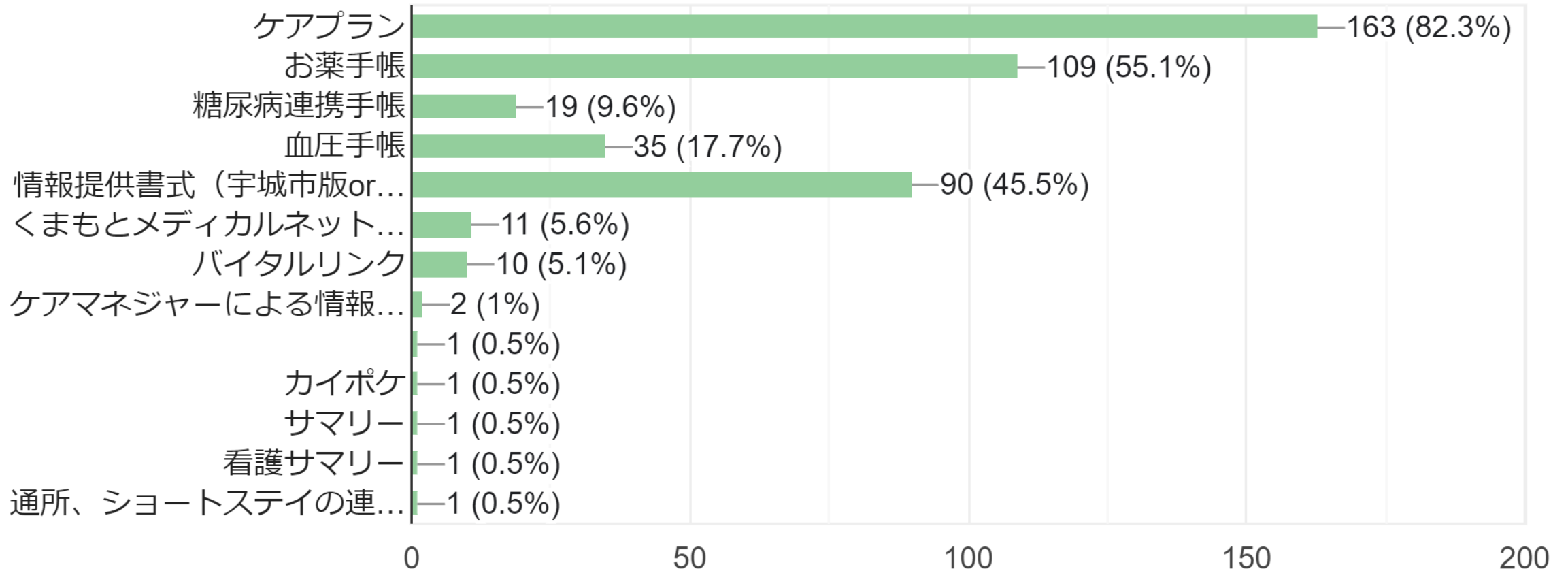
200 件の回答



□ 「カンファレンス等の会議」が最も多い回答。
コロナ禍において意外な回答であった。
次いで、「電話」「書面」「FAX」

質問14 現在利用している連携のための情報共有ツールをお答えください（複数選択可）

198 件の回答



□ 「ケアプラン」「お薬手帳」「書面での情報提供」が主

質問16 ICTを使った情報共有はどのような場面に有効だと思いますか？ また課題と感じますか？

メリット

スピードのあるやりとり
リアルタイム
情報履歴が正確
情報が蓄積できる

多人数、多職種での情報共有
会議や研修への柔軟な参加が可能
遠隔地との連携も可
コロナ禍（感染予防）

時間の有効活用
労力の削減
ペーパーレス
コスト削減

デメリット

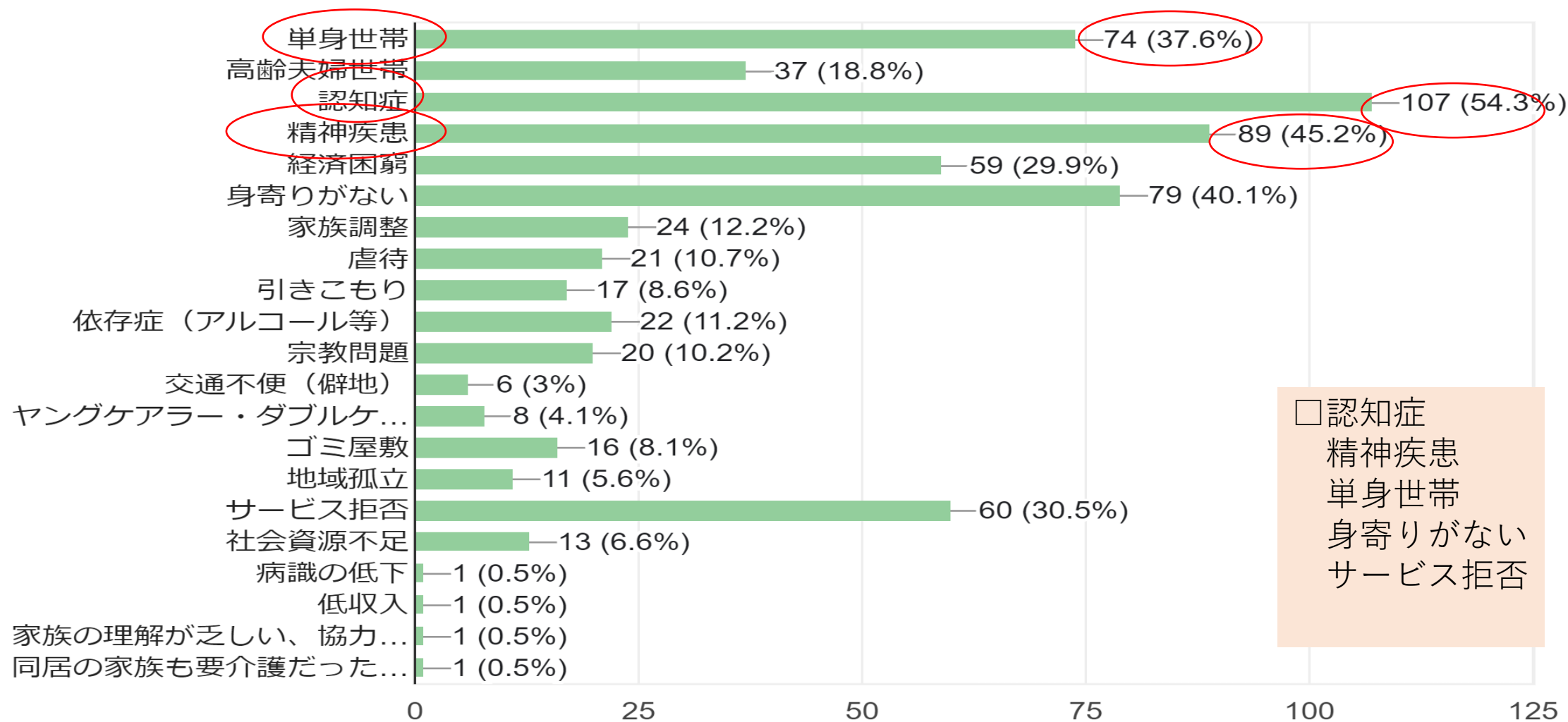
登録者が少ない
情報取得に制限がある
コミュニケーションエラーが生じないか？
意識の統一
定着できるか？

個人情報保護とのかねあいは？
セキュリティーへの不安

労力 設備投資 通信環境
既存システムとの兼ね合い
ICTの取り扱いに慣れていない

質問16 患者、利用者支援において特に困難と感じるケースを教えてください（3つまで選択）

197 件の回答



特に困難と感ずるケースの傾向

意見が多かった困難ケース

認知症
精神疾患
単身世帯
身寄りがない
サービス拒否
経済困窮

困難と感ずる主な理由

- ・意志疎通が難しい
- ・意志確認が難しい
- ・指示や意見が伝わらない

実際の困りごと

- ・適切なサービスにつながりにくい
- ・受診控え
- ・緊急時の対応が苦慮する
- ・相談機関が定まらない
- ・身元引受人がない
- ・いざという時の連絡先がない
- ・共同生活がおくれない

2次的な困りごと

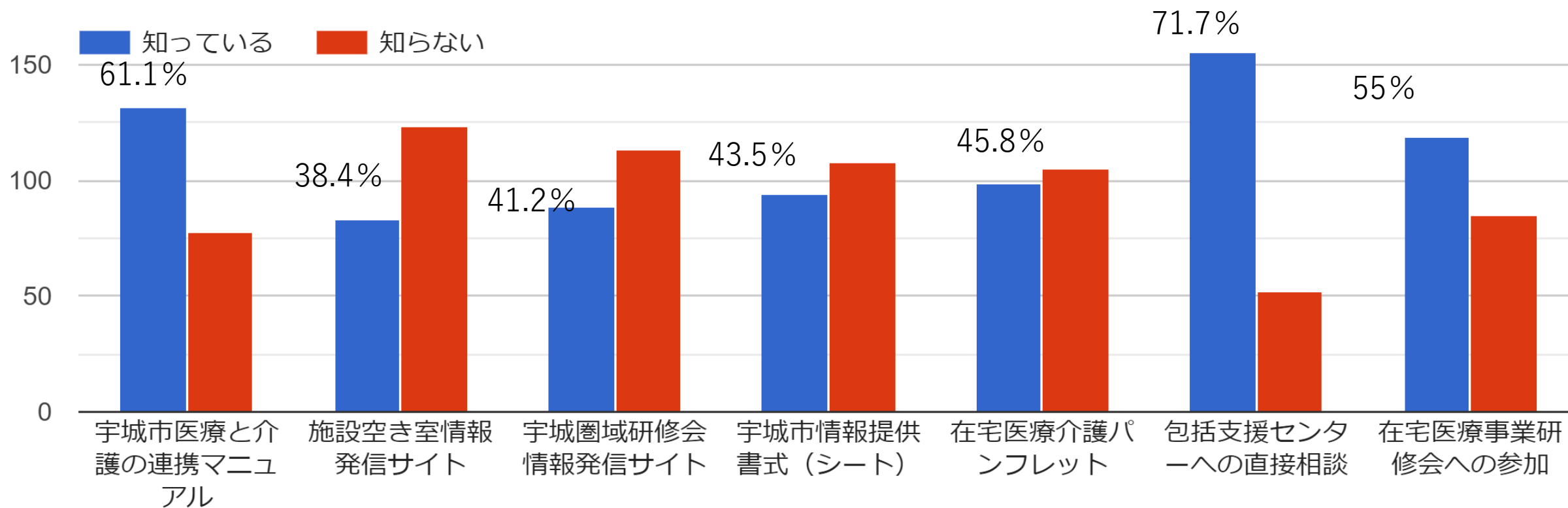
- ・スタッフのマンツーマン対応
- ・サービス外の対応がしいられる
- ・スタッフの疲弊
- ・ちゅうぶらりんになるケースがある



重層化的な関り
包括的なかわり

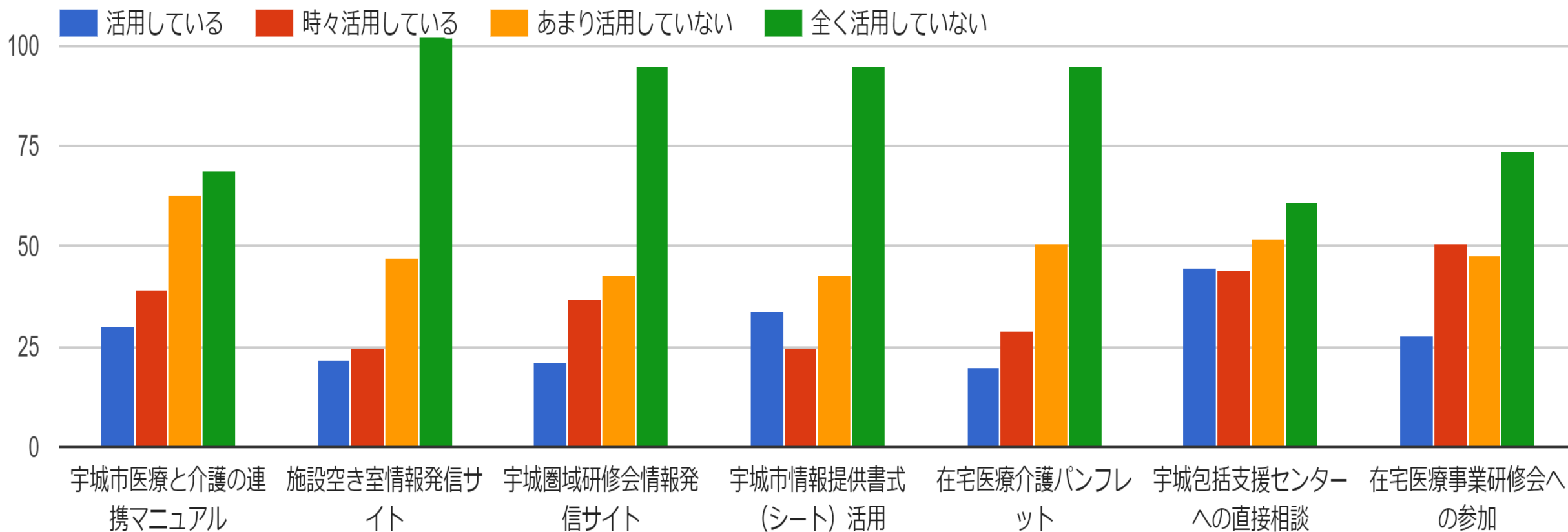
対応策としての提案意見

質問18 宇城市在宅医療・介護連携推進事業の取り組みの周知状況をうかがいます。



■全ての項目の平均周知度は50.9%。「宇城市医療と介護の連携マニュアル」「包括支援センターへの直接相談」のみ「知っている」の選択肢が上回った。

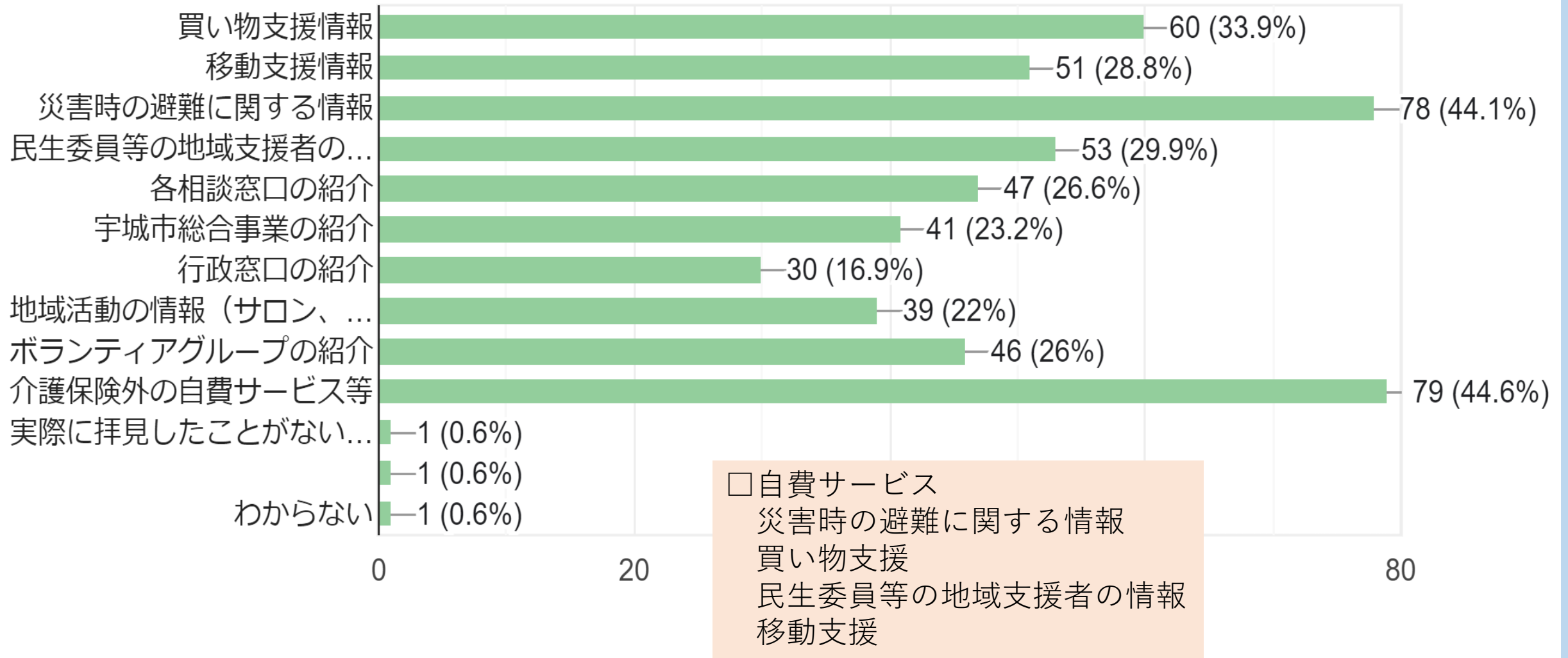
質問19 宇城市在宅医療介護連携推進事業の取り組みにおいて活用した事があるものをお答えください。



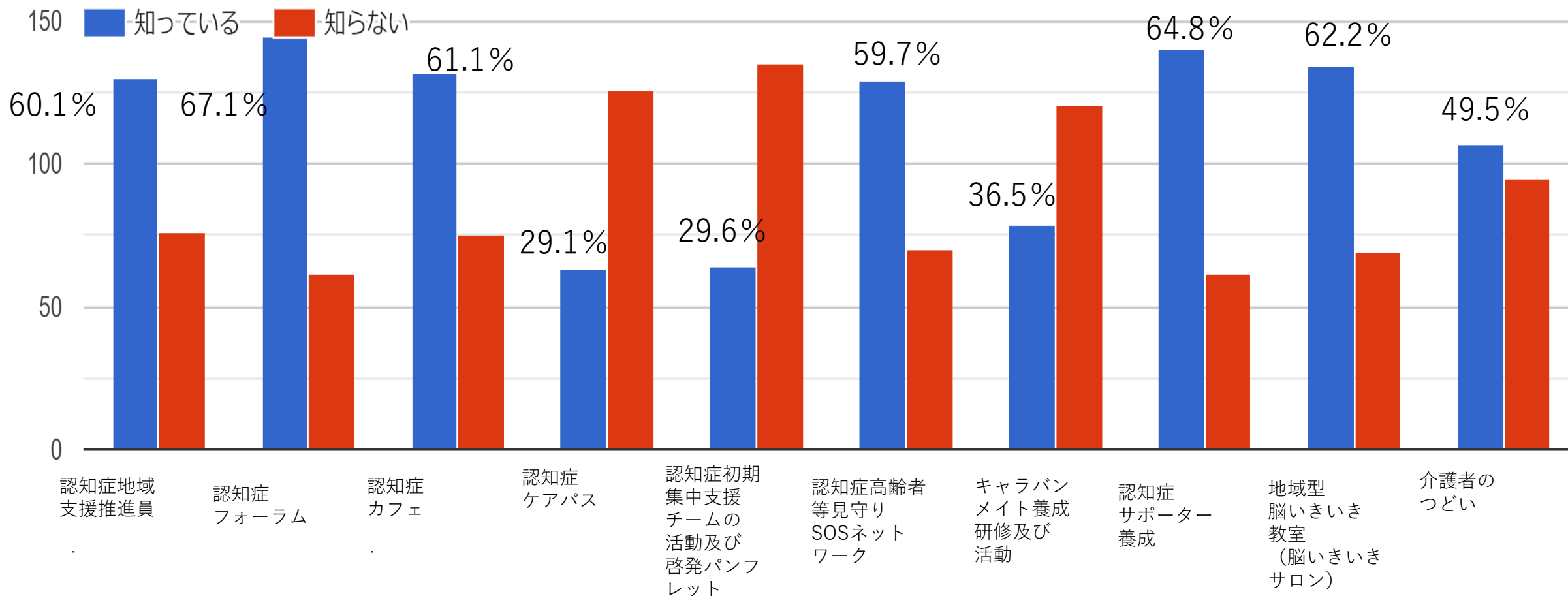
■ 「活用している」「時々活用している」の平均値は29.7%
マニュアル、包括への直接相談、研修会を活用

質問20 「宇城市医療と介護の連携マニュアル」として医療介護関係の情報をまとめた冊子を年1回配布しています。現在の情報に加えてほしい情報を教えてください

177件の回答



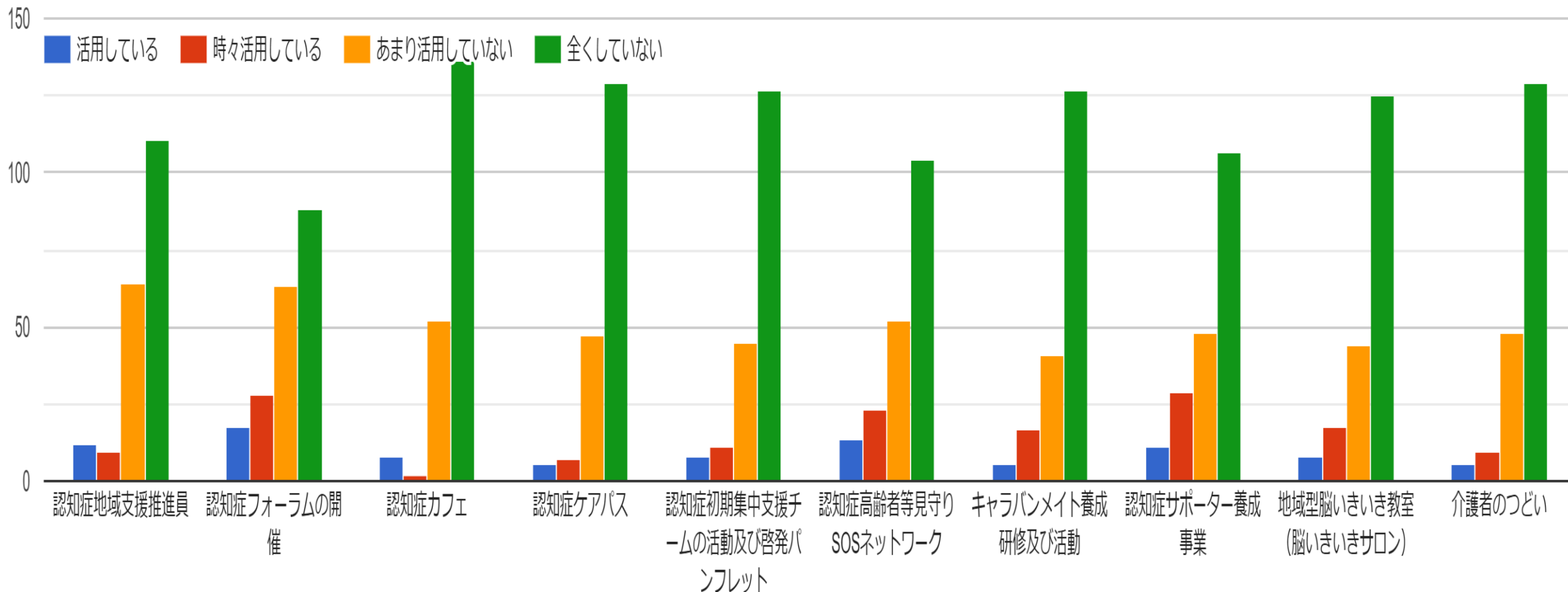
質問21 認知症事業の取り組みの周知に関してあてはまる項目にチェックください



■全項目の周知度は平均52%。認知症ケアパス、初期集中支援チーム、キャラバンメイト等PR強化必要

質問22 認知症事業に取り組みの活用についてあてはまる項目にチェックください。

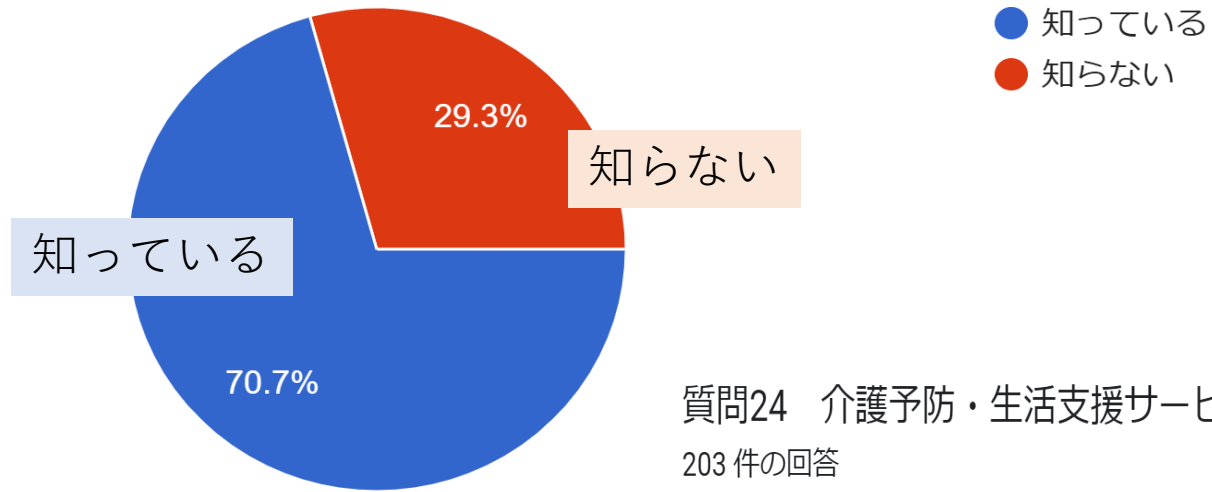
■ 認知症初期集中支援チームの活用やSOSネットワークなど従事者の支援の方法の一つとなるようなものは特に啓発をしていく必要がある



■ 「活用している」「時々活用している」の平均値は12.6%

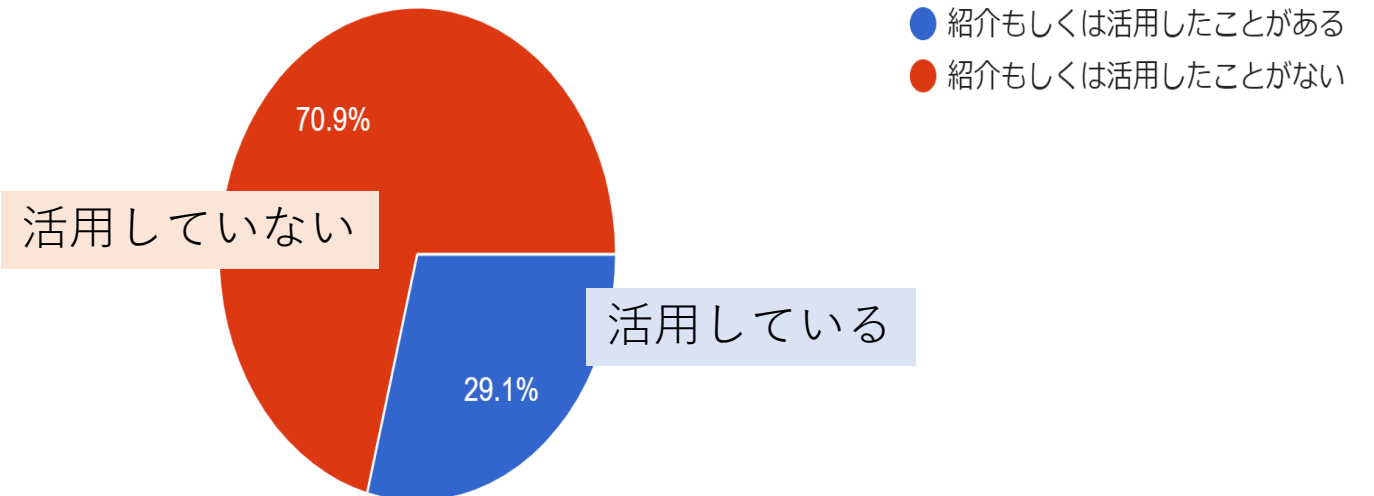
質問23 介護予防・生活支援サービスの取り組みが実施されている事を知っていますか？

208 件の回答



質問24 介護予防・生活支援サービスについて紹...りますか？もしくは活用したことがありますか？

203 件の回答

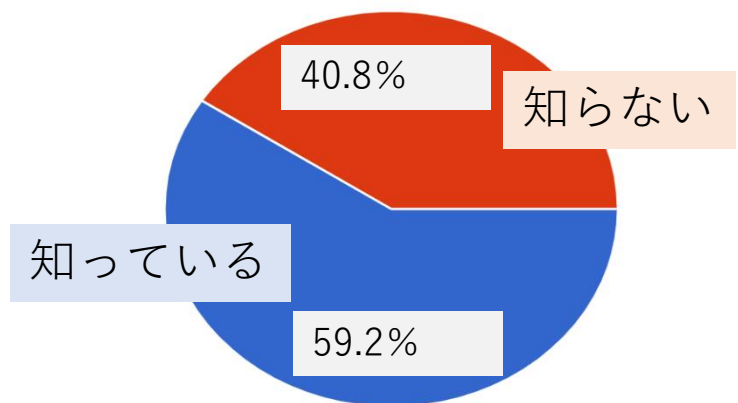


「総合事業の事をたずねられても複雑すぎて答える事ができない」といった意見あり

地域ケア会議について

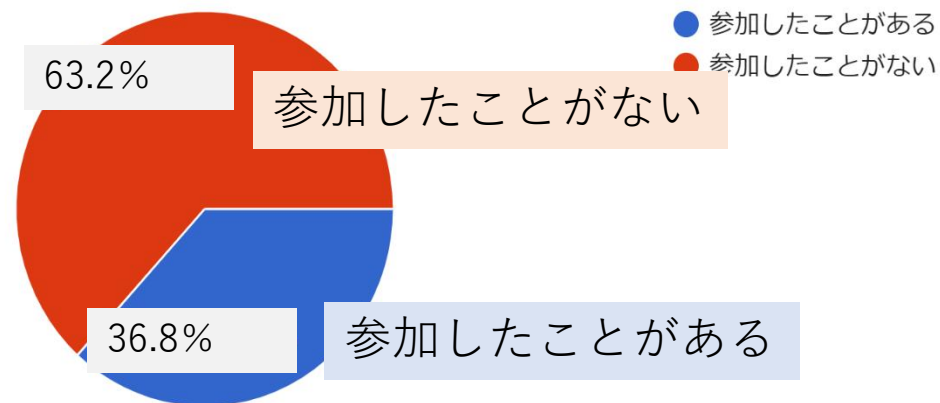
質問25 地域ケア会議を知っていますか

206 件の回答



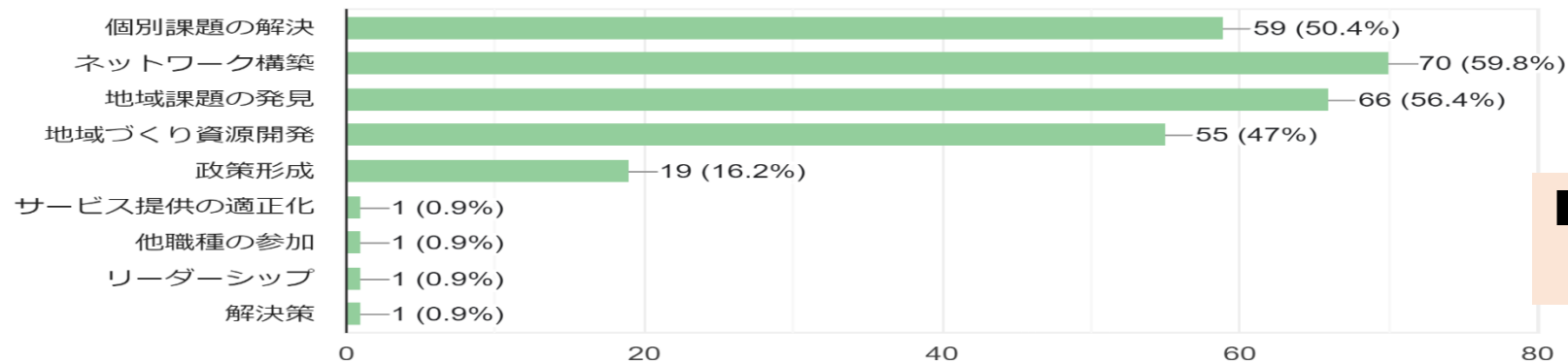
質問26 地域ケア会議に参加した事がありますか？

204 件の回答



質問27 質問25で「知っている」と答えた方に...議に期待する事を教えてください。(複数回答可)

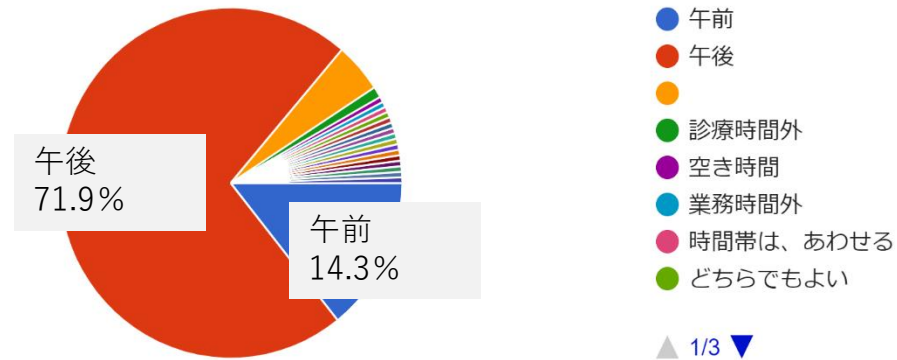
117 件の回答



■ ネットワークの構築が最も求められている

質問28 地域ケア会議の開催時間帯

196 件の回答

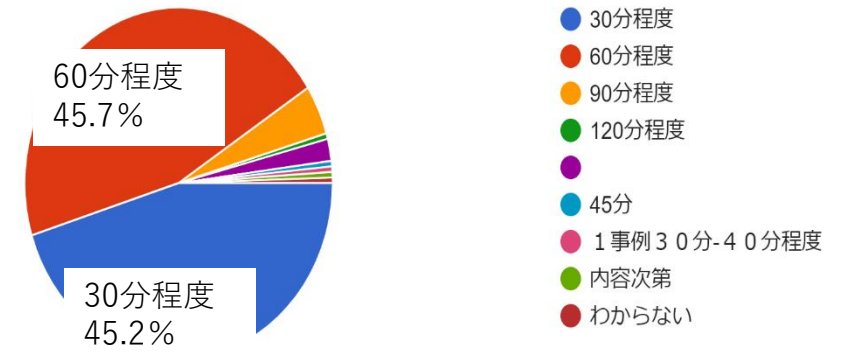


■開催時間は午後

■会議形態はWeb

質問29 地域ケア会議の実施時間

197 件の回答

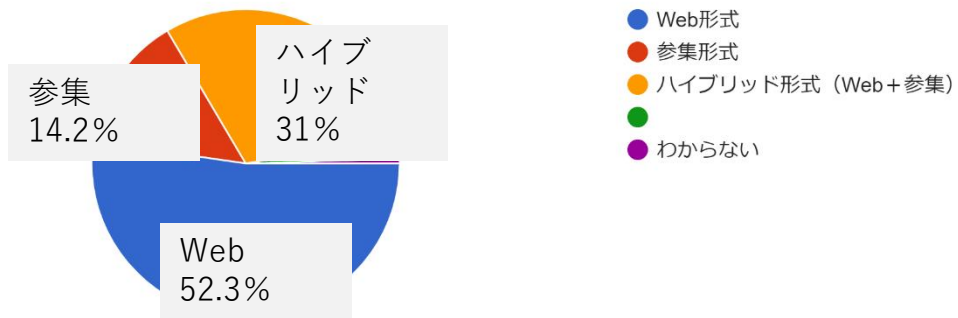


■実施時間は60分程度

■地域ケア会議を見学したい

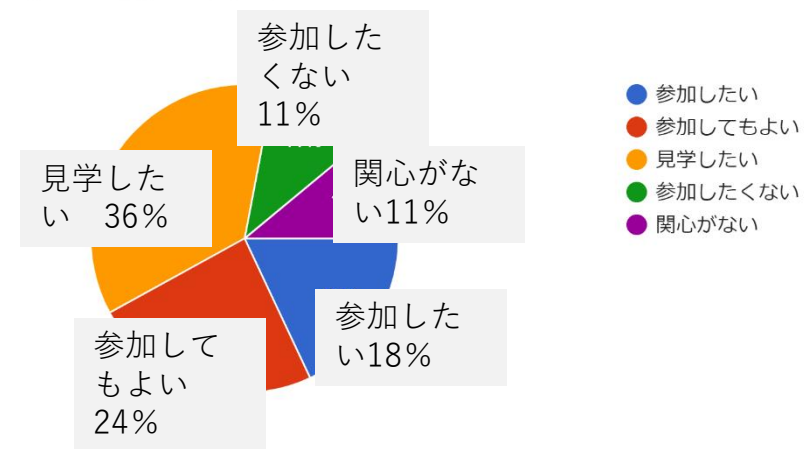
質問30 地域ケア会議の会議形態

197 件の回答



質問31 地域ケア会議への参加希望

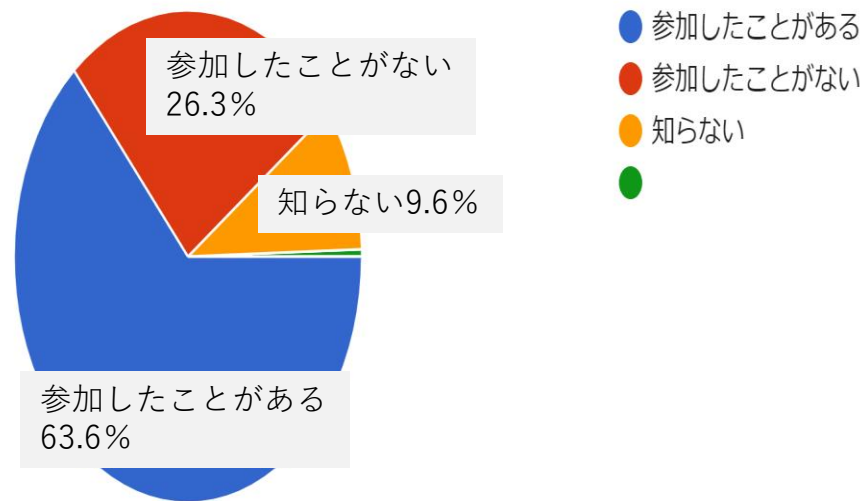
200 件の回答



宇城市地域包括支援センターについて

質問32 宇城市地域包括支援センターが企画、運営する研修会に参加したことがありますか？

209 件の回答

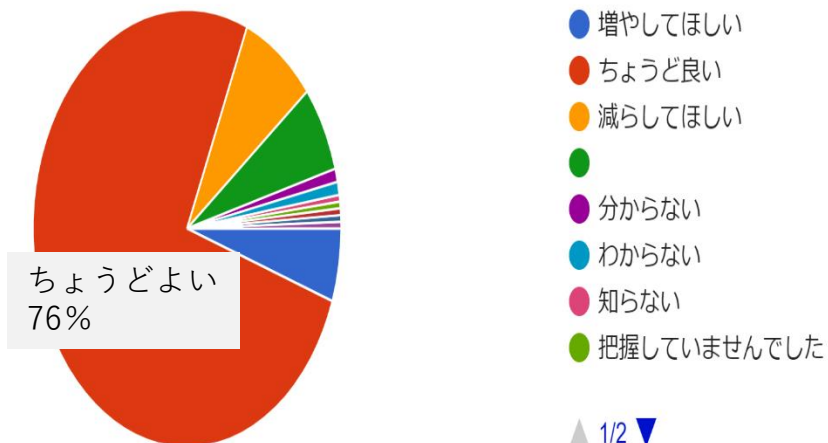


■ 「参加したことがある」 63.6%

質問33 研修の頻度

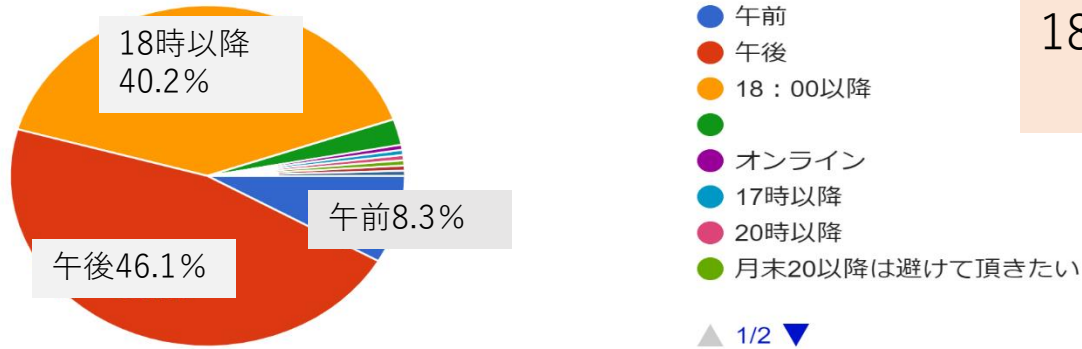
204 件の回答

■ 研修量はちょうど良い



質問34 研修時間帯

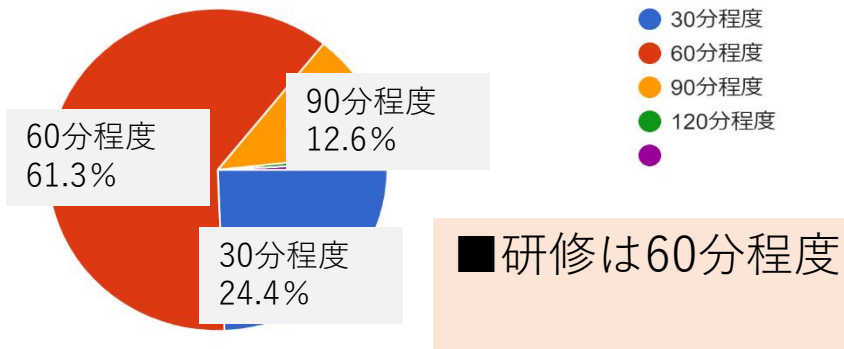
204 件の回答



■ 研修時間帯は午後および、18:00以降の希望が多い

質問35 研修時間

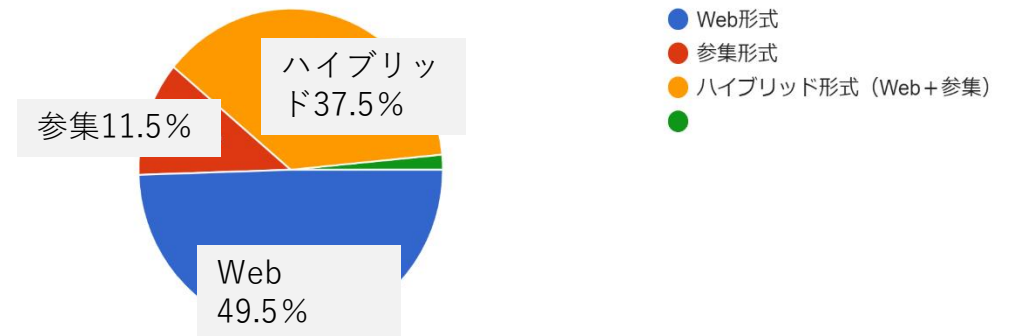
119 件の回答



■ 研修は60分程度

質問36 研修形態

200 件の回答



■ Web研修が最も多いが、参集で実施するとしても、Webと組み合わせたハイブリッド形式の希望が多い

宇城市包括支援センターへのご意見

- 研修は特定の事業所だけでなく様々な事業所の参加を呼びかけてほしい
多種多様な事業所と 関係づくりができる研修にしてほしい
- アンケートの質問項目から知った事業内容もある
- 包括支援センターの方の顔が分かるようになって相談したり連携する事が増えた
- ワクワクするような研修会をお願いします
- 研修はオンデマンド動画で閲覧できるようにしていただくと、時間を
きにせずに参加できる
- 薬局にもいろいろな情報をながしてほしい
- 適正化事業の提出書類（課題整理総括表）に関して事例集発行してほしい
- 地域ケア会議開催の様子、生配信して事業所などが見れるようにしてはどうか？
- 認知症予防の研修はあるが、認知症になって地元に住み続けることができるような、
地域づくりの研修があるといいと思う
(予防の取り組みをしても予防は予防だから)

まとめ（見えてきたこと）

- 数字上は既存の連携で困り感は少ない
- 病院、ケアマネジャー、包括との連携が要となっている
- 自立支援という観点より、リハ職との連携が求められている
- 民生委員等の地域支援者との連携が求められている
- 認知症事業の取り組みは必要な方にしっかり繋げる事ができるようにと見守り網の構築が求められる。従事者への周知啓発の強化（初期集中支援チーム、SOSネットワーク等の啓発と拡大）
- 包括的、重層的な連携が求められている
⇒特に他問題のケースを通じての連携が増えている。スムーズにつなぐ（どこの誰につなぐ）情報を送る（適切な手段）という事を基本に今後の連携体制を作る必要がある。

◎包括支援センターについて

- 包括支援センターを医療と介護をつなぐ窓口として活用してもらう事が現時点での一番の有効活用。継続的に「顔のみえる包括支援センター」のPR活動を行う
- 研修会の活用率は高い。内容の充実・オンデマンド、ハイブリッドの対応整備必要